地域をつむぐ縁結び人養成塾
集合研修　３日目　プロデュース
WS「協働の場実践に向けて」

２０１２年9月２０日

《参加者の実践に向けての発表》

・ 地域を花いっぱいにしたい。委託ではなくて市民が参加できるような形、フラワーポットに企業の名前を載せるなども考えている。２年後に実施したい。

・ 多世代交流スペース「おっかわハウス」を動かす中で課題が見えてきた。子どもの声がすると集まってくる。どうやったらみんなが集まるような場所が継続してできるか。

→子どもが気軽に集まれるような場所にどうしたらなれるかという協議をしたい。

・ 今月末に協議の場を持てることになった。愛知県の教育委員会の子育てネットワーカー養成講座があったが、予算がなくなったので、あとはあなたたちの力でやってみてと言われた。今月末に５市５町の課長さんが集まって会議をすることになった。

・ 地域の宝を生かしたまちづくり（人材発掘）がテーマ。いろんな人の力をどう引き出すか。行政からも協議の場をつくってほしいという話がある。今年できるかわからないが、いろんな人をまきこんでつくりたい。

・ 県内で５つの市民活動センターを運営している。災害時のセンターの活用によって帰宅困難者の受け入れ、ボランティアセンターとしての機能を担えるのではと考えている。

・ 市民主導でどんな方でも集まれる場所“地域共生ステーション”をつくりたい。引きこもりの人も来られるような場所になるといい。子を持つ親の支援など、地域で生き生きと活動できるような場になるといいなと思っている。

・障害児の託児。まだあったらいいな、の段階だが、少しずつ実現に向けて話し合いの場を進めていきたい。

- 堅苦しくない女性相談を考えた。DVとか母子の役所の相談は、敷居が高い。役所に行きたくてもいけない人がいる。すぐ相談できる場があるといい。いろんな立場の女性が話し合える場所があるといい。
- いきなり行政&NPOに話すのではなく、会う人ごとに話していって協議の場につながればいいと考えている

・小学校３年生のためのユニバーサルデザインのプログラムそれの実験の場を作りたい。障害者の疑似体験。各障害の疑似体験をしながら、社協や先生などを巻き込んだ場をつくりたい。

- コミュニティの活性化。行政からは、行政からじゃなく市民からといわれているので、協議の場をつくって行政に話を持っていきたい。

・自主防災会。まずコミュニティで、そして市全体でやりたい。

- 元気な高齢者の活用。阿久比の農業の活性化。協議のテーマは、阿久比の農業の現状と課題について話し合いたい。

- 防災力＆地域福祉。津波の経路、これではダメだと突き返したら、小学校の先生と大学の先生と自分とで話す場ができた。明日、日本福祉大学の先生も招いて協議の場を開催予定。

・役員が終わったらあなたは何をする？というテーマで話したい。
・役員を1年終わって終わりじゃなく、コミュニティを１つの大家族にしたい。

・団体の中からまずは話し合っていきたい。

・ 公設の市民活動センターが使いやすいものとなるには？利用者、市民、入っている団体で話したい。話し合って、意見を出して仕様書もそれを生かす形にしたい。

・ 市民共生ステーションをつくるための話し合いが始まっている。小学校区１つずつできたら、それをまとめる団体をつくりたい。地域共生ステーションをつくった人を中心に、その人たちと協議の場をつくりたい。

・ 知立団地に多文化共生センターができた。そのセンターの活用方法について考えたい。まずは人脈をつくるところから、徐々に広げたい。

＜今井氏コメント＞

・ みなさんの発表を聞いて、このままやっていけばいいというのが率直な感想。続けていくと、うまくいかないこと、障害のあることが出てくる。それが、自分の肥やしになると思って関わってもらいたい。
・ ５市５町で仕事をすることでいやなことは、嫌な人とも仕事をしなきゃ行けないこと。最近はなんで嫌いなんだろうということを考えるようになった。話が分かる人と話をしているときには見えてこないことが見えてくるようになった。
・ みなさんも活動をする中でいろいろ見えてくると思うが、継続していけば叶うのかな、と思う。みんなでやっていくことが必要とされるのかなと思う。がんばってほしい。

＜市民協働ネットワーク　リニモねっと代表　島田氏コメント＞

・ NPOの人は、想いで動き、活動する中で考える。いろんなところで行政と接触することになると思うが、行政はみなさんと発想が違う。制度で考えて制度（予算、議会、法律）で行動する。行政の人と想いは共有できない。
・ ひとことアドバイスするとすれば、彼らがどういう制度／どういうしくみの中で動いているかを知る努力をしてほしい。
・ 何を言っているんだ？と思うかもしれないが、そこには言っている理由がある。その理由を聞き出せる「人」をつくってほしい。私を利用してもらってもいいし、そういう人を見つけてほしい。

＜NPO法人起業支援ネット　代表理事　久野氏コメント＞

・ すごく手間暇がかかりエネルギーがかかることに取り組もうとしているこの場にいる人に敬意を表したい。
・ 自分１人で思い描いているだけなら協議の場はいらない。けれど、協議の場をするということは、その場でしか生み出せないこと、できないことがきっとある。そんな気持ちで取り組みたい。みなさんからも学ばせていただきながら実践の場に取り組みたい。